

2007

函館大学

教養講座



第1回 10月29日(月) 16:30~18:00

室町幕府をめぐるコネクション ～儀礼、手数料、賄賂のあいだ～



本学 准教授 **田中 浩司** (たなか ひろし)
中央大学大学院文学研究科博士後期課程退学。中央大学非常勤講師などを経て、1998年に函館大学専任講師となり、2002年より現職。「歴史」「日本経済史」などを担当。専門分野は、室町・戦国時代の流通・消費、財政、貨幣・金銀など。
〈概要〉南北朝・室町時代、幕府は、それまで朝廷が持っていた様々な国家的な権限を吸収し、公家・寺社よりも政治的に上位に立つ存在となっていました。南北朝の動乱による武士の荘園侵略、半済令、荘園年貢の守護請負など、公家・寺社の荘園支配は、幕府・守護・守護代などの武家の権力・権威に依存するものになっていました。そこで、公家・寺社は、さまざまな機会をとらえて幕府の要人や守護などに金品を贈ってコネクションを結び、それによって権利保証、課税免除、迅速な裁判など、有利な取り計らいをうけようとしていました。そうした贈り物とは、儀礼によるものなのか、手数料なのか、はたまた賄賂なのか。室町・戦国という時代の社会の中で考えてみたいと思います。

第2回 11月5日(月) 16:30~18:00

近代資本主義社会の形成過程について



本学 教授 **石井 晋良** (いしい しんりょう)
中央大学大学院経済学研究科修士課程修了(西洋経済史専攻)。函館大学教授として「西洋経済史」「商業史」「原書講読」などの講義を担当。現在に至る。〈著書 論文〉分担執筆「ちよっと向学心」(北海道新聞社)、「規制緩和時代と産業政策の再編」(函大商学研究 第38巻第1・2合併号)、「規制緩和論」と産業政策史研究」(行財政研究 第29号)など。
〈概要〉現在、我々の経済活動の中枢をなす「市場経済の原理」を基本とする資本主義社会はいかにして形成されてきたのか、すなわち、中世封建社会から近代資本主義社会に転換していくキーポイントは何か。また、アジア諸国は資本主義社会の形成がヨーロッパ諸国より遅れたのはなぜか。これらの点を中心にして、本講座では論述していきたいと思ひます。

第3回 11月19日(月) 16:30~18:00

「地域格差」を考える ～産業論の視点から～



本学 准教授 **寺田 隆至** (てらだ たかゆき)
大阪市立大学大学院経営学研究科後期博士課程単位取得退学。平成4年函館大学専任講師。現在、函館大学准教授として、産業構造論、経営史などの講義を担当。〈著書 論文〉分担執筆「ちよっと向学心」(北海道新聞社)、「規制緩和時代と産業政策の再編」(函大商学研究 第38巻第1・2合併号)、「規制緩和論」と産業政策史研究」(行財政研究 第29号)など。
〈概要〉近年、いわゆる「格差社会」をめぐる議論が盛んですが、その中で一つの焦点となっているのが、「地域格差」の問題です。果たして、「地域格差」は拡大しているのでしょうか。拡大しているとするばそれは何故なのでしょう。また、それをどう受けとめるべきなのでしょう。か、「地域格差」の問題には様々な側面からのアプローチが必要ですが、本講座では、地域の経済的側面、特に、地域経済を支える産業の問題に焦点を合わせて、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

第4回 11月26日(月) 16:30~18:00

ロビンソン・クルーソーと簿記ないし会計



本学 教授 **片山 郁夫** (かたやま いちお)
小樽商科大学大学院商学研究科修士課程修了。北海道自動車短期大学(工業経営科、当時)助教授を経て、現在函館大学教授。簿記原理・会計監査論等の科目を担当。〈著書 論文〉分担執筆「簿記から会計への展開」(簿記論テキスト)(いずれも同文館出版)。論文「簿記テキストにおける本店会計の説明方法」(「会計」第154巻 第5号)、「本店仕入a/cの処理とその説明方法」(「産業管理」, Vol.66, No.2)等。
〈概要〉簿記は知らなくてもロビンソン・クルーソーの話ならご存知の方は多いのではないのでしょうか。しかし、その両者がどう関係にあるのでしょうか。ともすれば「簿記・会計」という名称から抱かれがちな技術的・専門的イメージを振り払って、簿記・会計が果たす役割についての考え方を理解していただければと考えています。簿記ないし会計学関係の教科全般に興味をもっていただければ幸いです。

会場 函館大学
申込先 函館大学・総務課
〒042-0955 函館市高丘町51-1
(TEL) 0138-57-1181 (内線105, 121) (FAX) 0138-57-0298
(Eメール) soumu@hakodate-u.ac.jp
※TEL、FAX、Eメールのいずれかにより、お申し込みください。

申込期間
第1回 10月22日(月)～10月27日(土)
第2回 10月29日(月)～11月2日(金)
第3回 11月12日(月)～11月17日(土)
第4回 11月19日(月)～11月24日(土)

受講料 無 料
定員 各回とも100名
交通 野又学園バス、函館バス「14系統」・「循環湯の川ハッチ」が運行しています。
※詳細は申込先におたずねください。

〈ホームページアドレス〉 <http://www.hakodate-u.ac.jp>

